

クローズアップ

サントリー ワールド リサーチセンター



建 物 外 観

安 藤 康 司

(Koji Ando)

三菱電機株式会社 関西支社
ビルシステム部 営業技術課

1. はじめに

サントリー ワールド リサーチセンターは、これまで3ヶ所に分散していたサントリーグループの拠点を集約し、新たに建設した研究開発拠点です。

建物の外観は「水」、「緑」、「土壌」を表しています。前面道路と敷地との間に壁や柵を設けず、建物内中央に1階エントランスから4階までの吹き抜けを配置するなど、外部及び内部の交流を促すよう開放的なつくりとなっています。

センター内は、各部門の壁を取り払い、従業員の固定席を廃止するフリーアドレスを採用したオフィスにより、従業員同士の交流による技術連携、知識融合を促します。

設備面では、自然採光を積極的に取り入れるトップライトの採用など自然エネルギーを積極的に活用するとともに、全館LED照明の配置、照明や送風の自動制御、温度差送水、天然ガスと電気を併用するハイブリッド熱源機器の採用など、環境負荷低減を図る設備が導入されています。

2. 建物概要

所在地：京都府相楽郡精華町精華台八丁目1番1
 建築主：サントリーホールディングス株式会社
 設計・監理：株式会社 竹中工務店
 施工：株式会社 竹中工務店
 建物用途：研究所、事務所
 敷地面積：約49,150㎡
 建築面積：約7,620㎡
 延床面積：約22,922㎡

構造：S造

階床数：地上4階

建屋高, 軒高：21.075m

工期：2014年5月～2015年5月

竣工日：2015年5月

3. 昇降機設備

本建物には、エレベーターが3台設置されており、内1台は建物中央の吹き抜けに配置されたオープン展望エレベーターとなっています。

展望エレベーターの乗場は、昇降路側へ持ち出された自立タイプの三方枠と、ガラスフェッシャープレートの採用により、縦方向に繋がる乗場とかごの関係が切り離され、かご自体の昇降が強調されるよう工夫されています。また、エレベーターを吹き抜け側に持ち出すことで、昇降路が建物から独立し、通常壁面を這いながら上下するエレベーターを、建築的なアプローチにより「単独で浮遊するかご」へ変化させています。

かごは、1枚モノの全面ガラス天井が特徴的で、鋼板の箱（かご）に対し斜めに差し込むよう構成されており、出入口から連続的に広がるガラス天井は、閉鎖されたかご室に開放感を与え、利用者の意識を吹き抜け側へ導きます。

昇降路側の広い吹き抜け空間は、オープン展望エレベーターにとって大切な「引き」のスペースが贅沢に確保されており、かごの「内側」と「外側」の活動を直感的に結び付ける建築レイアウトとなっています。平面だけでなく、立体的な人、発想、活気の結びつきがエレベーターを介して生まれることを期待しています。

クローズアップ



展望エレベーター昇降路



展望エレベーターのかご室とカゴ内から見える吹き抜け空間



昇降路側へ持ち出された自立タイプの乗場



展望エレベーターのかご外観

エレベーター仕様 (計3台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	乗用	インバーター	乗合全自動方式	1600	24	60	1	4 (1~4)	三菱	展望用
2	人荷用	〃	〃	1600	24	60	1	5 (1~4、R)		車いす仕様
3	乗用	〃	〃	1150	17	60	1	4 (1~4)		